

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	オハナ 西鎌倉	階数	地上7F
建設地	鎌倉市手広五丁目727番3	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域(準防火地域)/第一種中高層住居専用地域(指定なし)	平均居住人員	553 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年9月 予定	評価の実施日	2019年7月23日
敷地面積	8,938 m ²	作成者	株式会社長谷工コーポレーション
建築面積	2,970 m ²	確認日	2019年7月23日
延床面積	13,816 m ²	確認者	株式会社長谷工コーポレーション

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.5 ★★★★★★☆☆</p> <p>S: ★★★★★★ A: ★★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 3.4</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.6</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.1</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.4</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.7</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.9</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.4</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合 地域環境や街並みとの調和を図り、省エネルギーや環境負荷の軽減を考慮しつつ、敷地内の防犯や利便性、室内の快適性に配慮した計画としている。</p>		<p>その他</p>
<p>Q1 室内環境 ・戸境壁は木軸下地二重壁を採用してD r値50を目標値として設定。 ・F☆☆☆☆を床、壁、天井、天井裏の面積の合計70%以上の面積に採用。</p>	<p>Q2 サービス性能 ・住宅性能表示基準劣化対策等級3を取得予定。 ・各住戸に100MHzクラスのブロードバンドが利用可能。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) 建物の配置、形態、植栽を地域環境や街並みとの調和に配慮し、鎌倉から連なる低い山々の尾根が作り出す緑のラインの連なりをつなげるよう計画している。</p>
<p>LR1 エネルギー ・住宅性能表示基準断熱等性能等級4を取得予定。 ・潜熱回収型給湯器エコジョーズ、LED照明、複層ガラスを採用。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル 二重壁・二重天井を採用し資源の再利用に配慮している。</p>	<p>LR3 敷地外環境 ・駐車台数100%、駐輪台数160%以上を確保。 ・ディスプレイシステムを採用。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される